

注3

大学番号：005

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

国立大学法人帯広畜産大学大学院 畜産学研究科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人帯広畜産大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 戰略企画課企画係

職名・氏名 企画係員 佐々木 慎祐

電話番号 0155-49-5302

(夜間) 0155-49-5302

F A X 0155-49-5229

e-mail kikakuka@obihiro.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科 (平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 - ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
 - ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

帯広畜産大学大学院

ページ	＜畜産学研究科＞
3	1. 調査対象大学等の概要等
9	2. 授業科目の概要
18	3. 施設・設備の整備状況、経費
19	4. 既設大学等の状況
20	5. 教員組織の状況
73	6. 附帯事項等に対する履行状況等
74	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人帯広畜産大学

(2) 大 学 名

帯広畜産大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒080-8555

北海道帯広市稻田町西2線11番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(オクダ キヨシ) 奥田 潔 (平成28年1月1日)		
研究科長	(オクダ キヨシ) 奥田 潔 (平成30年4月1日)		
畜産科学 専攻長	(サトウ タダトシ) 佐藤 穎穎 (平成30年4月1日)	(テツカ マサフミ) 手塚 雅文 (令和2年4月1日)	任期満了に伴う変更
獣医学 専攻長	(イシカワ トオル) 石川 透 (平成30年4月1日)	(ゲン ガクナン) 玄 学南 (令和2年4月1日)	〃

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
- (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
畜産学研究科 畜産科学専攻 (博士後期課程) 博士（農学・畜産衛生学）	農学関係	年 3	人 10	年次 -	人 30	基礎となる学部等 畜産学研究科 畜産科学専攻 博士前期課程
畜産学研究科 獣医学専攻 (博士課程) 博士（獣医学）	獣医学関係	年 4	人 5	年次 -	人 20	基礎となる学部等 畜産学部 共同獣医学課程

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

(畜産科学専攻博士後期課程)

区分	対象年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考	
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人				
A 入学定員		() []	() []	() []	() []	10 [-]	() [-]	10 [-]	() [-]	10 [-]	() [-]				
志願者数		() []	() []	() []	() []	8 [3]	() [-]	7 [5]	() [1]	1 [1]	6 [1]	() [-]	() [-]		
受験者数		() []	() []	() []	() []	8 [3]	() [-]	7 [5]	() [1]	1 [1]	6 [1]	() [-]	() [-]		
合格者数		() []	() []	() []	() []	8 [3]	() [-]	7 [5]	() [1]	1 [1]	6 [1]	() [-]	() [-]		
B 入学者数		() []	() []	() []	() []	8 [3]	() [-]	6 [4]	() [1]	1 [1]	6 [1]	() [-]	() [-]		
入学定員超過率 B/A						0.80		0.70		0.60					

0.70倍

-

(獣医学専攻博士課程)

区 分	対象年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超 過 率	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	5	人	人	人	人	5				
	()	[]	()	[]	(-)	[-]	(-)	[-]	(-)	[-]	(-)	[-]				
志願者数	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[]	[]	[]	[]	[1]	[-]	[6]	[3]	[1]	[-]						
受験者数	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1.33倍	-		
	[]	[]	[]	[]	[1]	[-]	[6]	[3]	[1]	[-]						
合格者数	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[]	[]	[]	[]	[1]	[-]	[6]	[3]	[1]	[-]						
B 入学者数	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[]	[]	[]	[]	[1]	[-]	[6]	[3]	[0]	[-]						
入学定員超過率 B/A					0.60		2.20		1.20							

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ () 内には、編入学の状況について外數で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内數で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

(畜産科学専攻博士後期課程)

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	8 (-)	- (-)	8 (2)	- (-)	6 (-)	2 (1)			
2年次			[] ()	[] ()			6 (1)	- (-)	6 (-)	- (-)			
3年次									5 (-)	- (-)			
計	[] ()	[] ()			8 (-)		14 (3)		19 (1)				

(獣医学専攻博士課程)

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 (-)	1 (-)	8 (-)	1 (-)	6 (-)	4 (1)			
2年次			[] ()	[] ()			2 (-)	- (-)	8 (-)	- (-)			
3年次									2 (-)	- (-)			
4年次									- (-)	- (-)			
計	[] ()	[] ()			3 (-)		11 (-)		20 (1)				

・令和2年5月1日 公表

(注) ① 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、他の学期欄は「-」を記入してください。また、他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況（畜産科学専攻博士後期課程）

対象年度 区分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数			
				うち留学生数			
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人		
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成30年度	8 人	0 人	平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	0 人	0 人		
令和元年度	14 人	2 人	平成28年度	人	人		
			平成29年度	10 人	3 人		
			平成30年度	2 人	1 人	就職のため, [授業料未納による除籍]	
			令和元年度	0 人	0 人		
令和2年度	19 人	0 人	平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	0 人	0 人		
			令和元年度	0 人	0 人		
			令和2年度	0 人	0 人		
合 計		2 人		2 人	1 人		

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　　・学力不足　　・他の教育機関への入学・転学　　・海外留学
　　・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況（獣医学専攻博士課程）

対象年度 区分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数 うち留学生数	
平成28年度	人	人	平成28年度	人 人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人 人	
			平成29年度	人 人	
平成30年度	3 人	0 人	平成28年度	人 人	
			平成29年度	人 人	
			平成30年度	0 人 0 人	
令和元年度	11 人	0 人	平成28年度	人 人	
			平成29年度	10 人 3 人	
			平成30年度	0 人 0 人	
			令和元年度	0 人 0 人	
令和2年度	20 人	0 人	平成28年度	人 人	
			平成29年度	人 人	
			平成30年度	0 人 0 人	
			令和元年度	0 人 0 人	
			令和2年度	0 人 0 人	
合 計		0 人		0 人 0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　　・学力不足　　・他の教育機関への入学・転学　　・海外留学
　　・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜畜産科学専攻 博士後期課程＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1・2・3	1			23	21	1	14	0	42
	獣医・農畜産学特論	1・2・3	1			23	19	1	14	0	42
	獣医・農畜産学特別演習	1・2・3	1			22	21	1	11	0	39
	特別研究	1・2・3通	6			22	21	1	11	0	39
	小計(4科目)	-	9			90	82	4	50	0	162
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1・2・3	2			22	13	0	0	0	23
	海外リサーチ演習	1・2・3	2			22	13	0	0	0	23
	国内フィールドワーク演習	1・2・3	2			22	13	0	0	0	23
	海外フィールドワーク演習	1・2・3	2			22	13	0	0	0	23
	リサーチプロポーザル演習	1・2・3	2			23	21	1	14	0	45
	リサーチデータ解析演習	1・2・3	2			23	21	1	14	0	42
	リサーチプレゼンテーション演習	1・2・3	2			23	21	1	14	0	45
	リサーチペーパーライティング演習	1・2・3	2			23	21	1	14	0	45
	リサーチマネジメント演習	1・2・3	2			23	21	1	14	0	42
	アカデミックレクチャー演習	1・2・3	2			22	21	1	11	0	42
	アカデミックティーチング演習	1・2・3	2			22	21	1	11	0	39
	社会人特別演習	1・2・3	2			22	13	0	0	0	23
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1・2・3	2			1	0	0	0	0	
	家畜疫学特論	1・2・3後	2			1	0	0	0	0	1
	家畜衛生学特論	1・2・3前	2			1	3	0	0	0	1
	衛生経済学特論	1・2・3後	2			0	1	0	0	0	
	国際衛生制度特論	1・2・3前	2			0	0	1	0	0	2
	小計(17科目)	-	34			272	216	8	92	0	419
専攻選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1・2・3通	1			22	12	0	0	0	23
	English Communication for Science	1・2・3前	2			0	0	0	0	0	3
小計(2科目)		-	3			22	12	0	0	0	26
合計(23科目)		-	9	37	0	384	310	12	142	0	607
卒業要件及び履修方法											

研究科共通必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から3単位以上修得し、12単位以上修得すること。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1・2・3	1			27	19	2	16	0	37
	獣医・農畜産学特論	1・2・3	1			26	14	0	13	0	37
	獣医・農畜産学特別演習	1・2・3	1			27	19	2	13	0	35
	特別研究	1・2・3通	6			27	19	2	13	0	35
	小計(4科目)	-	9			107	71	6	55	0	144
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1・2・3	2			27	17	2	0	0	25
	海外リサーチ演習	1・2・3	2			27	17	2	0	0	25
	国内フィールドワーク演習	1・2・3	2			27	17	2	0	0	25
	海外フィールドワーク演習	1・2・3	2			27	17	2	0	0	25
	リサーチプロポーザル演習	1・2・3	2			27	19	2	16	0	40
	リサーチデータ解析演習	1・2・3	2			27	19	2	16	0	37
	リサーチプレゼンテーション演習	1・2・3	2			27	19	2	16	0	40
	リサーチペーパーライティング演習	1・2・3	2			27	19	2	16	0	40
	リサーチマネジメント演習	1・2・3	2			27	19	2	16	0	37
	アカデミックレクチャー演習	1・2・3	2			27	19	2	13	0	38
	アカデミックティーチング演習	1・2・3	2			27	19	2	13	0	35
	社会人特別演習	1・2・3	2			27	17	2	0	0	25
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1・2・3	2			1	0	0	0	0	0
	家畜疫学特論	1・2・3後	2			1	0	0	0	0	1
	家畜衛生学特論	1・2・3前	2			2	2	0	0	0	0
	衛生経済学特論	1・2・3後	2			1	0	0	0	0	0
	国際衛生制度特論	1・2・3前	2			0	1	0	0	0	2
	小計(17科目)	-	34			329	221	24	106	0	395
専攻選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1・2・3通	1			25	6	0	0	0	19
	English Communication for Science	1・2・3前	2			0	0	0	0	0	3
小計(2科目)		-	3			25	6	0	0	0	22
合計(23科目)		-	9	37	0	461	298	30	161	0	561
卒業要件及び履修方法											

研究科共通必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から3単位以上修得し、12単位以上修得すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1・2・3	1			23	20	1	14	0	41
	獣医・農畜産学特論	1・2・3	1			23	18	1	14	0	41
	獣医・農畜産学特別演習	1・2・3	1			22	20	1	11	0	38
	特別研究	1・2・3通	6			22	20	1	11	0	38
	小計(4科目)	-	9			90	78	4	50	0	158
	国内リサーチ演習	1・2・3		2		22	12	0	0	0	22
研究科共通選択科目	海外リサーチ演習	1・2・3		2		22	12	0	0	0	22
	国内フィールドワーク演習	1・2・3		2		22	12	0	0	0	22
	海外フィールドワーク演習	1・2・3		2		22	12	0	0	0	22
	リサーチプロポーザル演習	1・2・3		2		23	20	1	14	0	44
	リサーチデータ解析演習	1・2・3		2		23	20	1	14	0	41
	リサーチプレゼンテーション演習	1・2・3		2		23	20	1	14	0	44
	リサーチペーパーライティング演習	1・2・3		2		23	20	1	14	0	44
	リサーチマネジメント演習	1・2・3		2		23	20	1	14	0	41
	アカデミックレクチャー演習	1・2・3		2		22	20	1	11	0	41
	社会人特別演習	1・2・3		2		22	12	0	0	0	22
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1・2・3		2		1	0	0	0	0	0
	家畜疫学特論	1・2・3後		2		1	0	0	0	0	1
	家畜衛生学特論	1・2・3前		2		1	2	0	0	0	1
	衛生経済学特論	1・2・3後		2		0	1	0	0	0	0
	国際衛生制度特論	1・2・3前		2		0	0	1	0	0	2
	小計(17科目)	-	34			272	203	8	92	0	407
専攻選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1・2・3通		1		22	11	0	0	0	22
	English Communication for Science	1・2・3前		2		0	0	0	0	0	3
	小計(2科目)	-	3			22	11	0	0	0	25
合計(23科目)		-	9	37	0	384	292	12	142	0	590

卒業要件及び履修方法

研究科共通必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から3単位以上修得し、12単位以上修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1・2・3	1			27	16	1	16	0	41
	獣医・農畜産学特論	1・2・3	1			27	14	0	14	0	41
	獣医・農畜産学特別演習	1・2・3	1			27	16	1	13	0	39
	特別研究	1・2・3通	6			27	16	1	13	0	39
	小計(4科目)	-	9			108	62	3	56	0	160
	国内リサーチ演習	1・2・3		2		27	14	1	0	0	25
研究科共通選択科目	海外リサーチ演習	1・2・3		2		27	14	1	0	0	25
	国内フィールドワーク演習	1・2・3		2		27	14	1	0	0	25
	海外フィールドワーク演習	1・2・3		2		27	14	1	0	0	25
	リサーチプロポーザル演習	1・2・3		2		27	16	1	16	0	44
	リサーチデータ解析演習	1・2・3		2		27	16	1	16	0	41
	リサーチプレゼンテーション演習	1・2・3		2		27	16	1	16	0	44
	リサーチペーパーライティング演習	1・2・3		2		27	16	1	16	0	44
	リサーチマネジメント演習	1・2・3		2		27	16	1	16	0	41
	アカデミックレクチャー演習	1・2・3		2		27	16	1	13	0	42
	社会人特別演習	1・2・3		2		27	14	1	0	0	25
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1・2・3		2		1	0	0	0	0	0
	家畜疫学特論	1・2・3後		2		0	0	0	0	0	1
	家畜衛生学特論	1・2・3前		2		2	2	0	0	0	0
	衛生経済学特論	1・2・3後		2		2	1	0	0	0	0
	国際衛生制度特論	1・2・3前		2		0	1	0	0	0	2
	小計(17科目)	-	34			328	185	12	106	0	423
専攻選択科目	獣医・農畜産学特別講義	1・2・3通		1		26	6	0	0	0	21
	English Communication for Science	1・2・3前		2		0	0	0	0	0	3
	小計(2科目)	-	3			26	6	0	0	0	24
合計(23科目)		-	9	37	0	462	253	15	162	0	607

卒業要件及び履修方法

研究科共通必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から3単位以上修得し、12単位以上修得すること。

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「リサーチコミュニケーション」「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネージメント演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授23、准教授21、講師1、助教14、兼任42」から「教授23、准教授20、講師1、助教14、兼任41」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特論」の専任教員等の配置を「教授23、准教授19、講師1、助教14、兼任42」から「教授23、准教授18、講師1、助教14、兼任41」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授22、准教授21、講師1、助教11、兼任39」から「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任38」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授22、准教授13、兼任23」から「教授22、准教授12、兼任22」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授23、准教授21、講師1、助教14、兼任45」から「教授23、准教授20、講師1、助教14、兼任44」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「アカデミックレクチャー演習」の専任教員等の配置を「教授22、准教授21、講師1、助教11、兼任42」から「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任41」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「アカデミックティーチング演習」の専任教員等の配置を「教授22、准教授21、講師1、助教11、兼任39」から「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任38」に変更。
- 教員の懲戒解雇1により、「家畜衛生学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、兼任1」から「教授1、准教授2、兼任1」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特論講義」の専任教員等の配置を「教授22、准教授12、兼任23」から「教授22、准教授11、兼任22」に変更。

【令和元年度】

- 「リサーチコミュニケーション」「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネージメント演習」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、採用（講師1、助教2）、退職（教授1）により、それぞれ「教授23、准教授20、講師1、助教14、兼任41」から「教授27、准教授16、講師1、助教16、兼任41」に変更。
- 「獣医・農畜産学特論」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、退職（教授1）により「教授23、准教授18、講師1、助教14、兼任41」から「教授27、准教授14、助教14、兼任41」に変更。
- 「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、採用（講師1、助教2）、科目の追加（教授1、兼任1）、退職（教授1）により、それぞれ「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任38」から「教授27、准教授16、講師1、助教13、兼任39」に変更。
- 「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」を、昇任（准教授→教授5）、採用（講師1）、科目の追加（教授1、准教授7、兼任3）、退職（教授1）により、それぞれ「教授22、准教授12、兼任22」から「教授27、准教授14、講師1、兼任25」に変更。
- 「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、採用（講師1、助教2）、退職（教授1）により、それぞれ「教授23、准教授20、講師1、助教14、兼任44」から「教授27、准教授16、講師1、助教16、兼任44」に変更。
- 「アカデミックレクチャー演習」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、採用（講師1、助教2）、科目の追加（教授1、兼任1）、退職（教授1）により「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任41」から「教授27、准教授16、講師1、助教13、兼任42」に変更。
- 「アカデミックティーチング演習」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、採用（講師1、助教2）、科目の追加（教授1、兼任1）、退職（教授1）により「教授22、准教授20、講師1、助教11、兼任38」から「教授27、准教授16、講師1、助教13、兼任39」に変更。
- 「家畜疫学特論」を、退職（教授1）により「教授1、兼任1」から「兼任1」に変更。
- 「家畜衛生学特論」を、兼任から専任への変更（教授1）により「教授1、准教授2、兼任1」から「教授2、准教授2」に変更。
- 「衛生経済学特論」を、昇任（准教授→教授1）により「准教授1」から「教授1」に変更。
- 「国際衛生制度特論」を、昇任（講師→准教授1）により「講師1、兼任2」から「准教授1、講師2」に変更。
- 「獣医・農畜産学特別講義」を、昇任（准教授→教授5、講師→准教授1）、退職（教授1、兼任1）により「教授22、准教授11、兼任22」から「教授26、准教授6、兼任21」に変更。

【令和2年度】

- 「リサーチコミュニケーション」「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネージメント演習」を、採用（教授1、准教授3、講師1、助教1）、退職（教授1、助教1、兼任4）により、それぞれ「教授27、准教授16、講師1、助教16、兼任41」から「教授27、准教授19、講師2、助教16、兼任37」に変更。
- 「獣医・農畜産学特論」を、退職（教授1、助教1、兼任4）により「教授27、准教授14、助教14、兼任41」から「教授26、准教授14、助教13、兼任37」に変更。
- 「獣医・農畜産学演習」「特別研究」「アカデミックティーチング演習」を、採用（教授1、准教授3、講師1、助教1）、退職（教授1、助教1、兼任4）により、それぞれ「教授27、准教授16、講師1、助教13、兼任39」から「教授27、准教授19、講師2、助教13、兼任35」に変更。
- 「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」を、採用（教授1、准教授3、講師1）、退職（教授1）により、それぞれ「教授27、准教授14、講師1、兼任25」から「教授27、准教授17、講師2、兼任25」に変更。
- 「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」を、採用（教授1、准教授3、講師1、助教1）、退職（教授1、助教1、兼任4）により、それぞれ「教授27、准教授16、講師1、助教16、兼任44」から「教授27、准教授19、講師2、助教16、兼任40」に変更。
- 「アカデミックレクチャー演習」を、採用（教授1、准教授3、講師1、助教1）、退職（教授1、助教1、兼任4）により、「教授27、准教授16、講師1、助教13、兼任42」から「教授27、准教授19、講師2、助教13、兼任38」に変更。
- 「家畜疫学特論」を、科目の追加（教授1）により、「兼任1」から「教授1、兼任1」に変更。
- 「獣医・農畜産学特別講義」を、退職（教授1、兼任2）により「教授26、准教授6、兼任21」から「教授25、准教授6、兼任19」に変更。

- (注) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	19 科目	0 科目	23 科目	4 科目 [0]	19 科目 [0]	0 科目 [0]	23 科目 [0]	

- (注) 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。**
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)
 - 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0\%}$$

- (注)
 - 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

〈獣医学専攻 博士課程〉

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			17	10	2	12	0	59
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			17	10	2	12	0	58
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			16	10	2	10	0	55
	特別研究	1-2-3-4選	6			16	10	2	10	0	55
	小計(4科目)	-	9			66	40	8	44	0	227
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		17	10	2	12	0	62
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		17	10	2	12	0	59
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		17	10	2	12	0	62
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		17	10	2	12	0	62
	リサーチマネジメント演習	1-2-3-4		2		17	10	2	12	0	59
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		16	10	2	10	0	58
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		16	10	2	10	0	55
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		15	8	0	0	0	35
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
	家畜疫学特論	1-2-3-4選		2		0	0	1	0	0	1
	家畜衛生学特論	1-2-3-4前		2		0	0	0	0	0	4
	衛生経済学特論	1-2-3-4後		2		0	0	0	0	0	1
	国際衛生制度特論	1-2-3-4前		2		0	0	0	0	0	3
	小計(17科目)	-	34			192	110	15	80	0	602
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4前	2			0	0	0	0	0	3
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4後	1			15	8	0	0	0	34
	獣医学特論 I	1-2-3-4	2			17	9	0	0	0	1
	獣医学特論 II	1-2-3-4	2			17	9	0	0	0	1
	獣医学特別演習 I	1-2-3-4	1			15	8	0	0	0	
	獣医学特別演習 II	1-2-3-4	1			15	8	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-41	2			6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			6	5	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-42	2			4	3	0	0	0	1
	臨床獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			4	3	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			4	3	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-43	2			7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4	1			6	3	0	0	0	1
	動物・食品検査診断センター特別演習	1-2-3-4	1			2	1	1	1	0	
	原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4	1			4	3	0	0	0	
	小計(18科目)	-	9	21	0	142	76	1	1	0	41
	合計(39科目)	-	18	55	0	400	226	24	125	0	870
卒業要件及び履修方法											
研究科共通必修科目から9単位、専攻必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から12単位以上修得し、30単位以上修得すること。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			16	11	1	9	0	64
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			16	11	1	9	0	53
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			16	11	1	7	0	61
	特別研究	1-2-3-4	6			16	11	1	7	0	61
	小計(4科目)	-	9			64	44	4	32	0	239
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		16	9	0	0	0	46
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		16	9	0	0	0	46
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		16	9	0	0	0	46
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		16	9	0	0	0	46
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		16	11	1	9	0	67
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		16	11	1	9	0	64
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		16	11	1	9	0	67
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		16	11	1	9	0	67
	リサーチマネジメント演習	1-2-3-4		2		16	11	1	9	0	64
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		16	11	1	7	0	64
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		16	11	1	7	0	61
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		16	9	0	0	0	46
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
	家畜疫学特論	1-2-3-48		2		0	0	1	0	0	1
	家畜衛生学特論	1-2-3-48		2		0	0	0	0	0	4
	衛生経済学特論	1-2-3-48		2		0	0	0	0	0	1
	国際衛生制度特論	1-2-3-48		2		0	0	0	0	0	3
	小計(17科目)	-	34			192	122	8	59	0	694
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4前	2			0	0	0	0	0	0
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4後	1			14	5	0	0	0	31
	獣医学特論 I	1-2-3-4	2			16	6	0	0	0	0
	獣医学特論 II	1-2-3-4	2			16	6	0	0	0	0
	獣医学特別演習 I	1-2-3-4	1			16	9	0	0	0	
	獣医学特別演習 II	1-2-3-4	1			16	9	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-43	2			7	3	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			7	4	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			7	4	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-42	2			3	2	0	0	0	0
	臨床獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			3	3	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			3	3	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-43	2			6	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			6	3	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			6	3	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4	1			5	2	0	0	0	0
	動物・食品検査診断センター特別演習	1-2-3-4	1			1	2	0	1	0	
	原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4	1			5	1	0	0	0	
	小計(18科目)	-	9	21	0	137	66	0	1	0	31
	合計(39科目)	-	18	55	0	393	232	12	92	0	964
卒業要件及び履修方法											
研究科共通必修科目から9単位、専攻必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から12単位以上修得し、30単位以上修得すること。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			17	9	2	12	0	58
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			17	9	2	12	0	57
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			16	9	2	10	0	54
特別研究		1-2-3-4選	6			16	9	2	10	0	54
	小計(4科目)	-	9			66	36	8	44	0	223
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	7	0	0	0	34
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		15	7	0	0	0	34
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	7	0	0	0	34
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		15	7	0	0	0	34
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		17	9	2	12	0	61
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		17	9	2	12	0	58
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		17	9	2	12	0	61
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		17	9	2	12	0	61
	リサーチマネジメント演習	1-2-3-4		2		17	9	2	12	0	58
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		16	9	2	10	0	57
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		16	9	2	10	0	54
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		15	7	0	0	0	34
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
	家畜疫学特論	1-2-3-4選		2		0	0	1	0	0	1
	家畜衛生学特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	4
	衛生経済学特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	1
	国際衛生制度特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	3
	小計(17科目)	-	34			192	98	15	80	0	590
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4選	2			0	0	0	0	0	3
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4選	1			15	7	0	0	0	33
	獣医学特論 I	1-2-3-4	2			17	8	0	0	0	1
	獣医学特論 II	1-2-3-4	2			17	8	0	0	0	1
	獣医学特別演習 I	1-2-3-4	1			15	7	0	0	0	
	獣医学特別演習 II	1-2-3-4	1			15	7	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-4	2			6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			6	5	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			6	5	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-4	2			4	2	0	0	0	1
	臨床獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			4	2	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			4	2	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4	1			6	2	0	0	0	1
	動物・食品検査診断センター特別演習	1-2-3-4	1			2	1	1	1	0	
	原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4	1			4	3	0	0	0	
	小計(18科目)	-	9	21	0	142	67	1	1	0	40
	合計(39科目)	-	18	55	0	400	201	24	125	0	853
卒業要件及び履修方法											
研究科共通必修科目から9単位、専攻必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から12単位以上修得し、30単位以上修得すること。											

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。

・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。

・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
研究科共通必修科目	リサーチコミュニケーション	1-2-3-4	1			18	9	2	11	0	60
	獣医・農畜産学特論	1-2-3-4	1			18	9	2	11	0	56
	獣医・農畜産学特別演習	1-2-3-4	1			18	9	2	9	0	57
特別研究		1-2-3-4選	6			18	9	2	9	0	57
	小計(4科目)	-	9			72	36	8	40	0	230
研究科共通選択科目	国内リサーチ演習	1-2-3-4		2		18	7	0	0	0	42
	海外リサーチ演習	1-2-3-4		2		18	7	0	0	0	42
	国内フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		18	7	0	0	0	42
	海外フィールドワーク演習	1-2-3-4		2		18	7	0	0	0	42
	リサーチプロポーザル演習	1-2-3-4		2		18	9	2	11	0	63
	リサーチデータ解析演習	1-2-3-4		2		18	9	2	11	0	60
	リサーチプレゼンテーション演習	1-2-3-4		2		18	9	2	11	0	63
	リサーチペーパーライティング演習	1-2-3-4		2		18	9	2	11	0	63
	リサーチマネジメント演習	1-2-3-4		2		18	9	2	11	0	60
	アカデミックレクチャー演習	1-2-3-4		2		18	9	2	9	0	60
	アカデミックティーチング演習	1-2-3-4		2		18	9	2	9	0	57
	社会人特別演習	1-2-3-4		2		18	7	0	0	0	42
	食品安全マネジメント・内部監査演習	1-2-3-4		2		0	0	0	0	0	1
	家畜疫学特論	1-2-3-4選		2		0	0	1	0	0	0
	家畜衛生学特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	4
	衛生経済学特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	1
	国際衛生制度特論	1-2-3-4選		2		0	0	0	0	0	3
	小計(17科目)	-	34			216	98	15	73	0	645
専攻科目	English Communication for Science	1-2-3-4選	2			0	0	0	0	0	3
	獣医・農畜産学特別講義	1-2-3-4選	1			16	5	0	0	0	32
	獣医学特論 I	1-2-3-4	2			18	6	0	0	0	1
	獣医学特論 II	1-2-3-4	2			18	6	0	0	0	1
	獣医学特別演習 I	1-2-3-4	1			18	7	0	0	0	
	獣医学特別演習 II	1-2-3-4	1			18	7	0	0	0	
	基礎獣医学特論	1-2-3-4	2			7	3	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			7	3	0	0	0	
	基礎獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			7	3	0	0	0	
	臨床獣医学特論	1-2-3-4	2			4	2	0	0	0	1
	臨床獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			4	3	0	0	0	
	臨床獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			4	3	0	0	0	
	応用獣医学特論	1-2-3-4	2			7	1	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 I	1-2-3-4	2			7	2	0	0	0	
	応用獣医学特別演習 II	1-2-3-4	2			7	2	0	0	0	
	動物医療センター特別演習	1-2-3-4	1			6	2	0	0	0	1
	動物・食品検査診断センター特別演習	1-2-3-4	1			2	1	1	1	0	
	原虫病研究センター特別演習	1-2-3-4	1			5	1	0	0	0	
	小計(18科目)	-	9	21	0	155	57	1	1	0	39
	合計(39科目)	-	18	55	0	443	191	24	114	0	914
卒業要件及び履修方法											
研究科共通必修科目から9単位、専攻必修科目から9単位、研究科共通選択科目及び専攻選択科目から12単位以上修得し、30単位以上修得すること。											

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「リサーチコミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授17、准教授10、講師2、助教12、兼任59」から「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任58」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特論」の専任教員等の配置を「教授17、准教授10、講師2、助教12、兼任58」から「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任57」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授10、講師2、助教10、兼任55」から「教授16、准教授9、講師2、助教10、兼任54」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授15、准教授8、兼任35」から「教授15、准教授7、兼任34」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授17、准教授10、講師2、助教12、兼任62」から「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任61」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネージメント演習」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授17、准教授10、講師2、助教12、兼任59」から「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任58」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「アカデミックレクチャー演習」の専任教員等の配置を「教授16、准教授10、講師2、助教10、兼任58」から「教授16、准教授9、講師2、助教10、兼任57」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「アカデミックティーチング演習」の専任教員等の配置を「教授16、准教授10、講師2、助教10、兼任55」から「教授16、准教授9、講師2、助教10、兼任54」に変更。
- 教員の懲戒解雇1により、「家畜衛生学特論」の専任教員等の配置を「兼任4」から「兼任3」に変更。
- 教員の辞職1、懲戒解雇1により、「獣医・農畜産学特別講義」の専任教員等の配置を「教授15、准教授8、兼任34」から「教授15、准教授7、兼任33」に変更。
- 教員の辞職1により、「獣医学特論Ⅰ及びⅡ」の専任教員等の配置を「教授17、准教授9、兼任1」から「教授17、准教授8、兼任1」に変更。
- 教員の辞職1により、「獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授15、准教授8」から「教授15、准教授7」に変更。
- 教員の辞職1により、「臨床獣医学特論」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3、兼任1」から「教授4、准教授2、兼任1」に変更。
- 教員の辞職1により、「臨床獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」の専任教員等の配置をそれぞれ「教授4、准教授3」から「教授4、准教授2」に変更。
- 教員の辞職1により、「動物医療センター特別演習」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、兼任1」から「教授6、准教授2、兼任1」に変更。

【令和元年度】

- 「リサーチコミュニケーション」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任3）、退職（准教授1、兼任1）により「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任58」から「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼任60」に変更
- 「獣医・農畜産学特論」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任1）により「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任57」から「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼任56」に変更
- 「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任3）、科目の追加（教授1、兼任1）、退職（准教授1、兼任1）により、それぞれ「教授16、准教授9、講師2、助教10、兼任54」から「教授18、准教授9、講師2、助教9、兼任57」に変更
- 「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任1）、科目の追加（教授2、兼任8）、退職（准教授1、兼任1）により、それぞれ「教授15、准教授7、兼任34」から「教授18、准教授7、兼任42」に変更
- 「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任3）、退職（准教授1、兼任1）により「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任61」から「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼任63」に変更
- 「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネージメント演習」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任3）、退職（准教授1、兼任1）により「教授17、准教授9、講師2、助教12、兼任58」から「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼任60」に変更
- 「アカデミックレクチャー演習」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1、兼任3）、退職（准教授1、兼任1）により「教授16、准教授9、講師2、助教10、兼任54」から「教授18、准教授9、講師2、助教9、兼任57」に変更
- 「家畜疫学特論」を、退職（兼任1）により、「講師1、兼任1」から「講師1」に変更
- 「獣医・農畜産学特別講義」を、昇任（准教授→教授1）、退職（准教授1、兼任1）により「教授15、准教授7、兼任33」から「教授16、准教授5、兼任32」に変更
- 「獣医学特論Ⅰ及びⅡ」を、昇任（准教授→教授1）、退職（准教授1）により、それぞれ「教授17、准教授8、兼任1」から「教授18、准教授6、兼任1」に変更
- 「獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」を、昇任（准教授→教授1、助教→准教授1）、採用（准教授1）、科目の追加（教授2）、退職（准教授1）により「教授15、准教授7」から「教授18、准教授7」に変更
- 「基礎獣医学特論」「基礎獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」は、昇任（准教授→教授1）、退職（准教授1）により、それぞれ「教授6、准教授5」から「教授7、准教授3」に変更
- 「臨床獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」を、採用（准教授1）により、それぞれ「教授4、准教授2」から「教授4、准教授3」に変更
- 「応用獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」を、科目の追加（准教授1）により、それぞれ「教授7、准教授1」から「教授7、准教授2」に変更
- 「原虫病研究センター特別演習」を、昇任（准教授→教授1）、退職（准教授1）により「教授4、准教授3」から「教授5、准教授1」に変更

【令和2年度】

- ・「リサーチコミュニケーション」「リサーチデータ解析演習」「リサーチマネジメント演習」を、昇任（講師1、助教1→准教授2）、採用（兼担6）、退職（教授2、助教1、兼担2）により、「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼担64」に変更
- ・「獣医・農畜産学特論」を、昇任（講師1、助教1→准教授2）、退職（教授2、助教1、兼担3）により「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼担56」から「教授16、准教授11、講師1、助教9、兼担53」に変更
- ・「獣医・農畜産学特別演習」「特別研究」「アカデミックティーチング演習」を、昇任（講師1、助教1→准教授2）、採用（兼担6）、退職（教授2、助教1、兼担2）により、それぞれ「教授18、准教授9、講師2、助教9、兼担57」から「教授16、准教授11、講師1、助教7、兼担61」に変更
- ・「国内リサーチ演習」「海外リサーチ演習」「国内フィールドワーク演習」「海外フィールドワーク演習」「社会人特別演習」を、科目的追加（准教授2）、採用（兼担5）、退職（教授2、助教1、兼担1）により、それぞれ「教授18、准教授7、兼担42」から「教授16、准教授9、兼担46」に変更
- ・「リサーチプロポーザル演習」「リサーチプレゼンテーション演習」「リサーチペーパーライティング演習」を、昇任（講師1、助教1→准教授2）、採用（兼担6）、退職（教授2、助教1、兼担2）により、「教授18、准教授9、講師2、助教11、兼担63」から「教授16、准教授11、講師1、助教9、兼担67」に変更
- ・「アカデミックレクチャー演習」を、昇任（講師1、助教1→准教授2）、採用（兼担6）、退職（教授2、助教1、兼担2）により、「教授18、准教授9、講師2、助教9、兼担60」から「教授16、准教授11、講師1、助教7、兼担64」に変更
- ・「家畜疫学特論」を、科目的追加（兼担1）により、「講師1」から「講師1、兼担1」に変更
- ・「獣医・農畜産学特別講義」は、退職（教授2、兼担1）により、「教授16、准教授5、兼担32」から「教授14、准教授5、兼担31」に変更
- ・「獣医学特論Ⅰ及びⅡ」は、退職（教授2、兼担1）により、「教授18、准教授6、兼担1」から「教授16、准教授6」に変更
- ・「獣医学教育特別演習Ⅰ及びⅡ」は、退職（教授2）、昇任に伴う科目的追加（准教授2）により、「教授18、准教授7」から「教授16、准教授9」に変更
- ・「基礎獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」は、昇任に伴う科目的追加（准教授1）により、「教授7、准教授3」から「教授7、准教授4」に変更
- ・「臨床獣医学特論」は、退職（教授1、兼担1）により、「教授4、准教授2、兼担1」から「教授3、准教授2」に変更
- ・「臨床獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」は、退職（教授1）により、「教授4、准教授3」から「教授3、准教授3」に変更
- ・「応用獣医学特論」は、退職（教授1）により、「教授7、准教授1」から「教授6、准教授1」に変更
- ・「応用獣医学特別演習Ⅰ及びⅡ」は、退職（教授1）、昇任に伴う科目的追加（准教授1）により、「教授7、准教授2」から「教授6、准教授3」に変更
- ・「動物医療センター特別演習」は、退職（教授1、兼担1）により、「教授6、准教授2、兼担1」から「教授5、准教授2」に変更
- ・「動物・食品検査診断センター特別演習」は、退職（教授1）、昇任（講師→准教授1）により、「教授2、准教授1、講師1、助教1」から「教授1、准教授2、助教1」に変更

- (注) ② (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
10 科目	29 科目	0 科目	39 科目	10 科目 [0]	29 科目 [0]	0 科目 [0]	39 科目 [0]	

- (注) 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。**
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)
 - 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0\%}$$

- (注)
 - 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	334,950m ²	— m ²	— m ²	334,950m ²				
	運動場用地	65,025m ²	— m ²	— m ²	65,025m ²				
	小計	399,975m ²	— m ²	— m ²	399,975m ²				
	その他	76,585m ²	— m ²	— m ²	76,585m ²				
	合計	476,560m ²	— m ²	— m ²	476,560m ²				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	30,398m ²	— m ²	— m ²	30,398m ²					
	(30,398m ²)	(m ²)	(m ²)	(30,398m ²)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	18室	2室	165室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	畜産学研究科畜産科学専攻			65 室					
	畜産学研究科獣医学専攻			37 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書冊	学術雑誌種	電子ジャーナル	視聴覚資料点	機械・器具点	標本点	大学全体	
	畜産学研究科	217,553 [49,464] 217,553 [49,464]	6,092 [1,272] (6,092 [1,272])	5,564 [5,556] (5,564 [5,556])	2,474 (2474)	0 0	0 0		
	計	217,553 [49,464] 217,553 [49,464]	6,244 [1,268] (6,244 [1,268])	5,564 [5,556] (5,564 [5,556])	2,474 (2474)	0 0	0 0		
	図書館	面積 2,161m ²	閲覧座席数 136	収納可能冊数 274,200					
(7) 体育館	面積 2,894m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場、アイスホッケー場、サッカー場 ラグビー場、アメリカンフットボール場					大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円		
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり 納付金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注)
 - ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はABC対象学部等の数値を記入してください。）
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	○○大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
畜産学部											
共同獣医学課程	6	40	－	240	学士 (獣医学)	1.00	1.00	平成24年度	北海道帯広市稻田町西2線11番地		
畜産科学課程	4	210	3年次10	860	学士 (農学)	1.02	1.00	平成20年度	同上		
畜産学研究科											
畜産科学専攻 (博士前期課程)	2	48	－	96	修士 (農学) (畜産衛生学) (動物医科学)	0.94	0.93	平成30年度	平成30年度	同上	
畜産科学専攻 (博士後期課程)	3	10	－	30	博士 (農学) (畜産衛生学)	0.70	0.60	平成30年度	平成30年度	同上	
獣医学専攻 (博士課程)	4	5	－	20	博士 (獣医学)	1.33	1.20	平成30年度	平成30年度	同上	
畜産学研究科											
畜産生命科学専攻 (修士課程)	2	－	－	－	修士 (農学)	－		平成22年度	同上	平成30年度より 学生募集停止	
食品科学専攻 (修士課程)	2	－	－	－	修士 (農学)	－		平成22年度	同上	同上	
資源環境農学専攻 (修士課程)	2	－	－	－	修士 (農学)	－		平成22年度	同上	同上	
畜産衛生科学専攻 (博士前期課程)	2	－	－	－	修士 (畜産衛生学)	－		平成16年度	同上	同上	
畜産衛生科学専攻 (博士後期課程)	3	－	－	－	博士 (畜産衛生学)	－		平成18年度	同上	同上	

(注) ① 本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科及び別科を除く）。

② 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

③ 本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

④ 「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

⑤ 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜畜産学研究科 畜産科学専攻 博士後期課程＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		
		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
				担当授業科目名				担当授業科目名
専 教 授	梅津 一孝 (60) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	梅津 一孝 (60) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	梅津 一孝 (61) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	梅津 一孝 (62) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授
専 教 授	浦島 匡 (61) <平成30年4月> 農学博士	専 教 授	浦島 匡 (61) <平成30年4月> 農学博士	専 教 授	浦島 匡 (62) <平成30年4月> 農学博士	専 教 授	浦島 匡 (63) <平成30年4月> 農学博士	専 教 授
専 教 授	大和田 琢二 (58) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	大和田 琢二 (58) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	大和田 琢二 (59) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授	大和田 琢二 (60) <平成30年4月> 博士(農学)	専 教 授
専 教 授	押田 龍夫 (55) <平成30年4月> 博士(理学)	専 教 授	押田 龍夫 (55) <平成30年4月> 博士(理学)	専 教 授	押田 龍夫 (56) <平成30年4月> 博士(理学)	専 教 授	押田 龍夫 (57) <平成30年4月> 博士(理学)	専 教 授

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		
専 助教		春日 純 (38) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	春日 純 (38) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	春日 純 (39) <平成30年4月> 博士(農学)	
		河野 洋一 (35) <平成30年10月> 博士(国際バイオビジネス学)		
専 助教		河野 洋一 (36) <平成30年10月> 博士(国際バイオビジネス学)		
		木下 林太郎 (33) <令和元年10月> 博士(土壤学)		
専 助教		窪田(宮崎)さと子 (37) <平成30年4月> 博士(畜産衛生学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	窪田(宮崎)さと子 (37) <平成30年4月> 博士(畜産衛生学)	
専 助教		窪田(宮崎)さと子 (38) <平成30年4月> 博士(畜産衛生学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	窪田(宮崎)さと子 (39) <平成30年4月> 博士(畜産衛生学)	
専 助教		後藤 達彦 (34) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	後藤 達彦 (34) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		後藤 達彦 (35) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	後藤 達彦 (36) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		小山 耕平 (39) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	小山 耕平 (40) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		小山 耕平 (40) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習 リサーチ・ミクティ・ライティング演習	小山 耕平 (41) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		齊藤 朋子 (37) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習	齊藤 朋子 (37) <平成30年4月> 博士(農学)	
専 助教		齊藤 朋子 (38) <平成30年4月> 博士(農学)		
		獸医・農畜産学特論 リサーチ・コミュニケーション リサーチ・ディザイン演習 リサーチ・データ解析演習 リサーチ・ビデオ・プロジェクト演習 リサーチ・データ・ライティング演習 リサーチ・ミクル・ライティング演習	齊藤 朋子 (39) <平成30年4月> 博士(農学)	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		
	田川 道人 (33) <平成30年4月> 博士(獣医学)	田川 道人 (33) <平成30年4月> 博士(獣医学)	田川 道人 (34) <平成30年4月> 博士(獣医学)	田川 道人 (35) <平成30年4月> 博士(獣医学)
兼任	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習
兼任	羽田 真悟 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	羽田 真悟 (38) <平成30年4月> 博士(獣医学)	羽田 真悟 (39) <平成30年4月> 博士(獣医学)	羽田 真悟 (40) <平成30年4月> 博士(獣医学)
兼任	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習
兼任	堀内 雅之 (39) <平成30年4月> 博士(獣医学)	堀内 雅之 (39) <平成30年4月> 博士(獣医学)	堀内 雅之 (40) <平成30年4月> 博士(獣医学)	
兼任	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチロード演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習
兼任	柳川 将志 (35) <平成30年4月> 博士(獣医学)	柳川 将志 (35) <平成30年4月> 博士(獣医学)	柳川 将志 (36) <平成30年4月> 博士(獣医学)	柳川 将志 (37) <平成30年4月> 博士(獣医学)
兼任	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習	リサーチニトーション 獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 リサーチアセスメント演習 リサーチリザーブ演習 リサーチリソース演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習 リサーチリソーシズ演習

(注) ① 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(「その2の1」)に準じて作成してください。
- 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本学の歴史としてください。**
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- 専任(専門職大学等は専、実専、実、研(研究)、実研)、兼任、兼任、兼任の順に記入してください。
- 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①～②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・A准教授は懲戒免職により解雇。
- ・佐々木直樹准教授は辞任により就任を辞退。
- ・Smith准教授は昇格により教授に昇任。
- ・岡崎講師は辞任し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- ・Hill講師は昇格により准教授に昇任。

【令和元年度】

- ・平成30年10月、木田教授就任（兼担から専任に変更）（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、耕野准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、島田准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、西田准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、平田准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、宗岡准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、瀬尾講師、准教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、浅利特任講師就任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、河野助教就任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、三上助教就任（同年7月教員審査済み）
- ・平成31年3月、門平教授退職。
- ・平成30年10月、西川准教授、教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、奥村助教、准教授に昇任（同年7月教員審査済み）
- ・平成30年10月、都築准教授就任（同年7月教員審査済み）
- ・平成31年3月、加藤准教授退職。

【令和2年度】

- ・令和元年10月、岩本准教授就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和元年10月、草場准教授就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和元年10月、山内准教授就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和元年10月、渡部講師就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和元年10月、木下助教就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和2年1月、池田教授就任（前年11月教員審査済み）
- ・令和2年3月、姜教授退職
- ・令和2年3月、折笠助教退職
- ・令和元年7月、猪熊教授退職
- ・令和元年8月、倉園教授退職
- ・令和元年10月、上川助教、准教授昇任（同年8月教員審査済み）
- ・令和元年10月、豊留講師、准教授就任（同年8月教員審査済み）
- ・令和2年3月、堀内助教退職
- ・令和2年3月、大石教授退職

(注) ① 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

② **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

③ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

④ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度における設置基準上の必要教授数	完成年度における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	4 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により
算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時の状況)					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助 手 (B')
24	21	1	14	60	0	28	19	2	16	65	0
(24)	(21)	(1)	(14)	(60)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
34	25	1				48	16	1			
(34)	(25)	(1)				(48)	(16)	(1)			
現在(報告時の)完成年度時の状況						現在(報告時の)完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助 手 (D')
28	19	2	16	65	0	29	20	2	16	67	0
[4]	[△2]	[1]	[2]	[5]	0	[5]	[△1]	[1]	[2]	[7]	0
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
46	18	1				48	18	1			
[12]	[△7]	[0]				[14]	[△7]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時の)状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時の)完成年度時の状況」には、「現在(報告時の)状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり。

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △ 1)

・ 「現在(報告時の)完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △ 1)

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{65}{60} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時の)状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時の)状況(B)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	A	H30.3	必修	獣医・農畜産学特論	①	懲戒免職による解雇のため未就任 (30)		
				選択	家畜衛生学特論	①			
				選択	獣医・農畜産学特別講義	①			
				必修	リサーチコミュニケーション	①			
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①			
				必修	特別研究	①			
				選択	国内リサーチ演習	①			
				選択	海外リサーチ演習	①			
				選択	国内フィールドワーク演習	①			
				選択	海外フィールドワーク演習	①			
				選択	リサーチプロポーザル演習	①			
				選択	リサーチデータ解析演習	①			
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①			
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①			
				選択	リサーチマネージメント演習	①			
				選択	アカデミックレクチャ演習	①			
				選択	アカデミックティーチング演習	①			
				選択	社会人特別演習	①			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人			必修	4 科目	必修	4 科目		
				選択	14 科目	選択	14 科目		
				自由	0 科目	自由	0 科目		
				計	18 科目	計	18 科目		
						計	0 科目		
						計	0 科目		
<p>(注) <ul style="list-style-type: none"> ・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。 ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 </div>									

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	門平 瞳代	H31.3	必修	獣医・農畜産学特論	①	H31.3.31付け一身上の都合により退職（元）
				選択	家畜疫学特論	①	
				選択	獣医・農畜産学特別講義	①	
				必修	リサーチコミュニケーション	①	
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①	
				必修	特別研究	①	
				選択	国内リサーチ演習	①	
				選択	海外リサーチ演習	①	
				選択	国内フィールドワーク演習	①	
				選択	海外フィールドワーク演習	①	
				選択	リサーチプロポーザル演習	①	
				選択	リサーチデータ解析演習	①	
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①	
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①	
				選択	リサーチマネージメント演習	①	
				選択	アカデミックレクチャ演習	①	
				選択	アカデミックティーチング演習	①	
				選択	社会人特別演習	①	

2	教授	姜 興起	R2.3	必修	獣医・農畜産学特論	①	R2.3.31付け一身上の都合により退職 (2)	
				選択	獣医・農畜産学特別講義	①		
				必修	リサーチコミュニケーション	①		
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①		
				必修	特別研究	①		
				選択	国内リサーチ演習	①		
				選択	海外リサーチ演習	①		
				選択	国内フィールドワーク演習	①		
				選択	海外フィールドワーク演習	①		
				選択	リサーチプロポーザル演習	①		
				選択	リサーチデータ解析演習	①		
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①		
				選択	リサーチマネージメント演習	①		
				選択	アカデミックレクチャー演習	①		
				選択	アカデミックティーチング演習	①		
				選択	社会人特別演習	①		
				必修	獣医・農畜産学特論	①		
				必修	リサーチコミュニケーション	①		
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①		
				必修	特別研究	①		
				選択	リサーチプロポーザル演習	①		
				選択	リサーチデータ解析演習	①		
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①		
				選択	リサーチマネージメント演習	①		
				選択	アカデミックレクチャー演習	①		
				選択	アカデミックティーチング演習	①		
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
3 人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	34 科目	選択	34 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	46 科目	計	46 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)
 - 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① + (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
4 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	48 科目	選択	48 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	64 科目	計	64 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) -③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) -② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{60} = 6.66\%$$

- (注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計				後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注)
 - 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
 - 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「獣医・農畜産学特論」「家畜疫学特論」の講義科目については、複数の教員が担当している科目であり、担当教員間で調整している。また、他の科目は指導教員が担当する論文指導科目のため、専攻において、指導教員を調整した。専任教員数は十分であり、他の専任教員が担当することで教育上の支障は生じていない。 教員変更については、学生へはシラバスやガイダンス等で周知している。
--

- (注)
 - 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

＜畜産学研究科 獣医学専攻 博士課程＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 任 教 授		富張 瑞樹 (41) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専 任 教 授		富張 瑞樹 (41) <平成30年4月> 博士(獣医学)	専 任 教 授		富張 瑞樹 (42) <平成30年4月> 博士(獣医学)
准 教 授		西川 義文 (44) <平成30年4月> 博士(農学)	准 教 授		西川 義文 (44) <平成30年4月> 博士(農学)	准 教 授		西川 義文 (45) <平成30年10月> 博士(農学)
専 任 教 授		廣井 豊子 (53) <平成30年4月> 博士(医学)	専 任 教 授		廣井 豊子 (53) <平成30年4月> 博士(医学)	専 任 教 授		廣井 豊子 (54) <平成30年4月> 博士(医学)
准 教 授		都築 直 (37) <平成30年10月> 博士(獣医学)	准 教 授		都築 直 (38) <平成30年10月> 博士(獣医学)	准 教 授		都築 直 (39) <平成30年10月> 博士(獣医学)
専 任 教 授		都築 直 (37) <平成30年10月> 博士(獣医学)	専 任 教 授		都築 直 (38) <平成30年10月> 博士(獣医学)	専 任 教 授		都築 直 (39) <平成30年10月> 博士(獣医学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
准教 授		熊野 了州 (46) <平成30年4月> 博士(理学)	准教 授	熊野 了州 (46) <平成30年4月> 博士(理学)	准教 授	熊野 了州 (47) <平成30年4月> 博士(理学)	准教 授	熊野 了州 (48) <平成30年4月> 博士(理学)
准教 授		耕野 拓一 (53) <平成30年4月> 博士(農学)	准教 授	耕野 拓一 (53) <平成30年4月> 博士(農学)	准教 授	耕野 拓一 (54) <平成30年10月> 博士(農学)	准教 授	耕野 拓一 (55) <平成30年10月> 博士(農学)
准教 授		島田 謙一郎 (49) <平成30年4月> 博士(農学)	准教 授	島田 謙一郎 (49) <平成30年4月> 博士(農学)	准教 授	島田 謙一郎 (50) <平成30年10月> 博士(農学)	准教 授	島田 謙一郎 (51) <平成30年10月> 博士(農学)
准教 授		清水 隆 (50) <平成30年4月> 博士(農学)						
准教 授		Smith Marshall (55) <平成30年4月> 博士(保健学)	准教 授	Smith Marshall (55) <平成30年4月> 博士(保健学)	准教 授	Smith Marshall (56) <平成30年4月> 博士(保健学)	准教 授	Smith Marshall (57) <平成30年4月> 博士(保健学)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
	宗岡 寿美 (49) <平成30年4月> 博士(農学)			宗岡 寿美 (49) <平成30年4月> 博士(農学)			宗岡 寿美 (50) <平成30年10月> 博士(農学)	
兼任 准教 授	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチコミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 特別演習 海外リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内リサーチ演習 国内リサーチ演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 社会人特別演習		兼任 准教 授	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 特別演習 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 社会人特別演習		兼任 准教 授	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 特別演習 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 国内リサーチ演習 海外リサーチ演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 社会人特別演習	
兼任 講師	岡崎 まゆみ (33) <平成30年4月> 修士(法学)		兼任 講師	岡崎 まゆみ (33) <平成30年4月> 修士(法学)		兼任 講師	岡崎 まゆみ (34) <平成30年4月> 修士(法学)	山内 健生 (44) <令和元年10月> 博士(学術)
	国際衛生制度特論			国際衛生制度特論			国際衛生制度特論	
兼任 講師	Campbell David Jon (60) <平成30年4月> M.A.		兼任 講師	Campbell David Jon (60) <平成30年4月> M.A.		兼任 講師	Campbell David Jon (61) <平成30年4月> M.A.	岡崎 まゆみ (35) <平成30年4月> 修士(法学)
	リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science			リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science			リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science	国際衛生制度特論
兼任 講師	Glen Hill (61) <平成30年4月> M.A.		兼任 准教 授	Glen Hill (61) <平成30年4月> M.A.		兼任 准教 授	Glen Hill (62) <平成30年4月> M.A.	Campbell David Jon (62) <平成30年4月> M.A.
	リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science			リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science			リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 English Communication for Science	Glen Hill (63) <平成30年4月> M.A.
兼任 講師	瀬尾 哲也 (49) <平成30年4月> 博士(農学)		兼任 准教 授	獣医・農畜産学特論 国際衛生制度特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習		兼任 准教 授	獣医・農畜産学特論 国際衛生制度特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習	瀬尾 哲也 (51) <平成30年10月> 博士(農学)
兼任 講師	獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別講義 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習			獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習			獣医・農畜産学特論 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習	瀬尾 哲也 (51) <平成30年10月> 博士(農学)
兼任 講師	波部 浩之 (39) <令和元年10月> 博士(農学)							
	特別研究特論 国際衛生制度特論 リサーチ・コミュニケーション 獣医・農畜産学特別演習 特別研究 リサーチ・ロボ・ザ・ボット演習 リサーチ・リバースエンジニアリング演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 リサーチ・パート演習 7月ミクルチャ演習 7月ミクルチャ演習						波部 浩之 (39) <令和元年10月> 博士(農学)	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等							
		担当授業科目名					担当授業科目名										
	</td																

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報で記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
認可申請書又是設置届書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
「認可時又は提出時」には「認可申請書又是届出の教員全て(兼任、兼任教員を含む)」を黒字で記入してください。
その上で、
「認可又は届出時点の現在と重複して在籍する者は本校の生徒としてください。」
各欄の作成方法は「大字の該番等に係る提出書類の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
年齢は、
「それぞのの年度の5月1日時点の満20歳」を記入してください。
専任(専門職場では事務、実習、実業、研修)、兼任、兼任の順に記入してください。
不要年数(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 佐々木直樹准教授は辞任により就任を辞退。
- A准教授は懲戒免職により解雇。
- Smith准教授は昇格により教授に昇任。
- 岡崎講師は辞任し、非常勤講師として兼任教員に変更。
- Hill講師は昇格により准教授に昇任。

【令和元年度】

- 平成30年10月、西川准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、奥村助教は准教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、都築准教授就任。同年7月、教員審査済み。
- 平成31年3月、加藤准教授退職。
- 平成30年10月、耕野准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、島田准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、西田准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、平田准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、宗岡准教授は教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、瀬尾講師は准教授に昇任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、浅利特任講師就任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、河野助教就任。同年7月、教員審査済み。
- 平成30年10月、三上助教就任。同年7月、教員審査済み。
- 平成31年3月、門平教授退職。

【令和2年度】

- 令和元年7月、猪熊教授退職
- 令和元年8月、倉園教授退職
- 令和元年10月、上川助教、准教授昇任（同年8月教員審査済み）
- 令和元年10月、豊留講師、准教授就任（同年8月教員審査済み）
- 令和2年3月、堀内助教退職
- 令和元年10月、岩本准教授就任（同年8月教員審査済み）
- 令和元年10月、草場准教授就任（同年8月教員審査済み）
- 令和元年10月、山内准教授就任（同年8月教員審査済み）
- 令和元年10月、渡部講師就任（同年8月教員審査済み）
- 令和元年10月、木下助教就任（同年8月教員審査済み）
- 令和2年1月、池田教授就任（前年11月教員審査済み）
- 令和2年3月、姜教授退職
- 令和2年3月、大石教授退職
- 令和2年3月、折笠助教退職

(注)

- 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、

大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

- 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度における設置基準上の必要教授数	完成年度における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	4 名

(注) 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時の状況)					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
17	10	2	12	41	0	16	11	1	9	37	0
(17)	(10)	(2)	(12)	(41)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
25	16	0				25	12	0			
(25)	(16)	0				(△1)	(△2)	(△3)	(△4)	(△5)	(△6)
現在(報告時の)完成年度時の状況						現在(報告時の)完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
16	11	1	9	37	0	16	12	2	9	39	0
[△1]	[1]	[△1]	[△3]	[△4]	0	[△1]	[2]	[0]	[△3]	[△2]	0
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
25	12	0				26	13	0			
[0]	[△4]	[0]				[1]	[△3]	[0]			

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・「現在(報告時の)状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・「現在(報告時の)完成年度時の状況」には、「現在(報告時の)状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり。

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

・「現在(報告時の)完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{41} = \boxed{90.24} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時の)状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時の)状況(B)}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時の)完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	佐々木 直樹	H30. 3	必修	獣医・農畜産学特論	①	辞職のため就任辞退（30）		
				必修	獣医・農畜産学特別講義	①			
				必修	獣医学特論 I	①			
				必修	獣医学特論 II	①			
				選択	臨床獣医学特論	①			
				選択	動物医療センター特別演習	①			
				必修	リサーチコミュニケーション	①			
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①			
				必修	特別研究	①			
				選択	国内リサーチ演習	①			
				選択	海外リサーチ演習	①			
				選択	国内フィールドワーク演習	①			
				選択	海外フィールドワーク演習	①			
				選択	リサーチプロポーザル演習	①			
				選択	リサーチデータ解析演習	①			
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①			
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①			
				選択	リサーチマネジメント演習	①			
				選択	アカデミックレクチャ演習	①			
				選択	アカデミックティーチング演習	①			
				選択	社会人特別演習	①			
				必修	獣医学特別演習 I	①			
				必修	獣医学特別演習 II	①			
				選択	臨床獣医学特別演習 I	①			
				選択	臨床獣医学特別演習 II	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目		
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目		

- （注）
- 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 - 就任した後に辞任した教員は、以下「（3）②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	加藤 健太郎	H31. 3	必修	獣医・農畜産学特論	①	H31. 3. 31付け一身上の都合により退職（元）
				必修	獣医・農畜産学特別講義	①	
				必修	獣医学特論 I	①	
				必修	獣医学特論 II	①	
				選択	基礎獣医学特論	①	
				選択	原虫病研究センター特別演習	①	
				必修	リサーチコミュニケーション	①	
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①	
				必修	特別研究	①	
				選択	国内リサーチ演習	①	
				選択	海外リサーチ演習	①	
				選択	国内フィールドワーク演習	①	
				選択	海外フィールドワーク演習	①	
				選択	リサーチプロポーザル演習	①	
				選択	リサーチデータ解析演習	①	
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①	
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①	
				選択	リサーチマネジメント演習	①	
				選択	アカデミックリクチャーエンターテイメント演習	①	
				選択	アカデミックティーチング演習	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	獣医学特別演習 I	①	
				必修	獣医学特別演習 II	①	
				選択	基礎獣医学特別演習 I	①	
				選択	基礎獣医学特別演習 II	①	
2	教授	猪熊 嗣	R1. 7	必修	獣医・農畜産学特論	①	R1. 7. 31付け一身上の都合により退職（2）
				必修	獣医・農畜産学特別講義	①	
				必修	獣医学特論 I	①	
				必修	獣医学特論 II	①	
				選択	臨床獣医学特論	①	
				選択	動物医療センター特別演習	①	
				必修	リサーチコミュニケーション	①	
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①	
				必修	特別研究	①	
				選択	国内リサーチ演習	①	
				選択	海外リサーチ演習	①	
				選択	国内フィールドワーク演習	①	
				選択	海外フィールドワーク演習	①	
				選択	リサーチプロポーザル演習	①	
				選択	リサーチデータ解析演習	①	
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①	
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①	
				選択	リサーチマネジメント演習	①	
				選択	アカデミックリクチャーエンターテイメント演習	①	
				選択	アカデミックティーチング演習	①	
				選択	社会人特別演習	①	
				必修	獣医学特別演習 I	①	
				必修	獣医学特別演習 II	①	
				選択	臨床獣医学特別演習 I	①	
				選択	臨床獣医学特別演習 II	①	

3	教授	倉園 久生	R1.8	必修	獣医・農畜産学特論	①	R1. 8.31付け一身上の都合により退職 (2)			
				必修	獣医・農畜産学特別講義	①				
				必修	獣医学特論 I	①				
				必修	獣医学特論 II	①				
				選択	応用獣医学特論	①				
				選択	動物・食品検査診断センター特別演習	①				
				必修	リサーチコミュニケーション	①				
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①				
				必修	特別研究	①				
				選択	国内リサーチ演習	①				
				選択	海外リサーチ演習	①				
				選択	国内フィールドワーク演習	①				
				選択	海外フィールドワーク演習	①				
				選択	リサーチプロポーザル演習	①				
				選択	リサーチデータ解析演習	①				
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①				
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①				
				選択	リサーチマネジメント演習	①				
				選択	アカデミックレクチャ演習	①				
				選択	アカデミックティーチング演習	①				
				選択	社会人特別演習	①				
				必修	獣医学特別演習 I	①				
				必修	獣医学特別演習 II	①				
				選択	応用獣医学特別演習 I	①				
				選択	応用獣医学特別演習 II	①				
4	助教	堀内 雅之	R2.3	必修	獣医・農畜産学特論	①	R2. 3.31付け一身上の都合により退職 (2)			
				必修	リサーチコミュニケーション	①				
				必修	獣医・農畜産学特別演習	①				
				必修	特別研究	①				
				選択	リサーチプロポーザル演習	①				
				選択	リサーチデータ解析演習	①				
				選択	リサーチプレゼンテーション演習	①				
				選択	リサーチペーパーライティング演習	①				
				選択	リサーチマネジメント演習	①				
				選択	アカデミックレクチャ演習	①				
				選択	アカデミックティーチング演習	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)				
4 人		必修		必修		必修				
		選択		選択		選択				
		自由		自由		自由				
		計		計		計				

- (注) ① 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ② 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ③ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① + (3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	必修	選択	自由
5 人	必修	40	科目	必修	40	科目	必修
	選択	71	科目	選択	71	科目	選択
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由
	計	111	科目	計	111	科目	計

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{5}{41} = 12.19\%$$

- (注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)
 - 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「獣医・農畜産学特論」「基礎獣医学特論」「応用獣医学特論」「臨床獣医学特論」「原虫病研究センター特別演習」「動物・食品検査診断センター特別演習」「動物医療センター特別演習」については、複数の教員が担当している科目であり、担当教員間で調整している。また、その他の科目は指導教員が担当する論文指導科目のため、専攻において、指導教員を調整した。専任教員数は十分であり、他の専任教員が担当することで教育上の支障は生じていない。
教員変更については、学生へはシラバスやガイダンス等で周知している。

- (注)
 - 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (29年)	畜産科学専攻博士前期課程における入学者のコース振り分け方法について、学生に対して誤解を与えないよう、学生募集時に十分周知すること。 留意事項	学内で実施した大学院説明会で説明するとともに募集要項に各コースを担当する指導教員の一覧を記載した。入学願書には希望するコースと指導教員を記載する箇所があり、コースと指導教員の整合性については願書受付の際にチェックしている。これにより、自身が所属するコースについて誤解が発生することはなかった。	履行済 今後の説明会においても同対応をとる予定である。
設置計画履行状況 調査時 (30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (元年)	該当なし		

- (注)
 - 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<畜産学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況
大学院教育部会議
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
・ 第197回 平成31年4月16日 14名
・ 第198回 令和元年5月8日 15名
・ 第199回 令和元年5月27日 15名 ※メール会議
・ 第200回 令和元年6月10日 13名
・ 第201回 令和元年7月12日 12名
・ 第202回 令和元年7月23日 14名 ※メール会議
・ 第203回 令和元年9月3日 11名
・ 第204回 令和元年9月24日 14名 ※メール会議
・ 第205回 令和元年9月26日 14名 ※メール会議
・ 第206回 令和元年10月2日 14名
・ 第207回 令和元年10月28日 16名 ※メール会議
・ 第208回 令和元年11月6日 10名
・ 第209回 令和元年12月10日 16名
・ 第210回 令和2年1月14日 11名
・ 第211回 令和2年2月4日 15名
・ 第212回 令和2年3月2日 16名
・ 第213回 令和2年3月27日 16名 ※メール会議
c 委員会の審議事項等
(1) 教育課程の編成に関すること。
(2) 大学院担当教員の資格審査に関すること。
(3) 修了に関すること。
(4) 休学、復学、退学、留学及び除籍に関すること。
(5) 学生の表彰及び懲戒に関すること。
(6) 学位(学士の学位を除く。)に関すること。
(7) 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生に関すること。
(8) 留学生の受入及び派遣に関すること。
(9) 学生の就職支援に関すること。
(10) 教育予算の使用及び配分に関すること。
(11) その他教育及び学生支援に関する重要事項

② 実施状況

a 実施内容

2019年度実施内容

- ・第1回FD タイトル「ポートフォリオの活用」
- ・第2回FD タイトル「化学物質等取扱いにかかる全学説明会及び取扱講習会」
- ・第3回FD タイトル「障害のある学生に対する修学支援の必要性とその実際について」
- ・ワークショップ1 タイトル「ICT活用ワークショップ4-板書を電子化してみよう」
- ・ワークショップ2 タイトル「論文執筆スキルアップセミナー」
- ・ワークショップ3 タイトル「英語対応珠のためのセミナー3」
- ・ワークショップ4 タイトル「学生の生活・学習支援に関する座談会2」
- ・ワークショップ5 タイトル「Moodleワークショップ」
- ・オープンクラス（授業参観） 2週間

b 実施方法

研修会型（全学教職員向け）FD、非研修会型（希望する教職員向けセミナー、ワークショップ、授業参観）FD

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2019年度開催状況

- ・第1回FD 令和元年5月31日 49名
- ・第2回FD 令和元年11月6日 47名
- ・第3回FD 令和元年12月23日 58名
- ・ワークショップ1 令和元年8月26日 13名
- ・ワークショップ2 令和元年8月27日 14名
- ・ワークショップ3 令和元年8月28日 11名
- ・ワークショップ4 令和元年8月29日 19名
- ・ワークショップ5 令和2年3月23日 16名
- ・オープンクラス（授業参観） 令和元年7月1日～7月12日 19名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学習到達度試験（アセスメント・テスト、TOEIC-IPテスト）、学習行動調査、教育ポートフォリオ、ルーブリック評価とフィードバック、学生および教員による授業評価と、これらを包括するIRについて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：あり、 時期：前期終了後および後期終了後の2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

公開：あり、 方法：ホームページ、ポータルサイト

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。

併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育の内部質保証については、本学が定めた中期目標・中期計画及び年度計画に加えて、教育及び教育支援者、学生の受入、教育内容、方法、学習成果、施設・設備、学生支援、教育情報等の公表に関する目標を定めて計画を立案・実施し、自己点検・評価に基づいた改善・改革を行うこととし、大学内に設置した教育システム内部監査チームが第三者の視点による評価及び改善方策等の助言を行うことにより、実効性のある教育PDCAサイクルを着実に稼働させる方針である。

また、アセスメント・ポリシーに基づき、学生の学習成果を評価する際に収集したデータ（各種アンケート結果、単位取得状況、授業出席状況、休学・退学の状況等）について、IRを担当する大学情報分析室や大学教育センターの担当部署において分析して、大学教育センター長に報告し、課題・改善方策等を各種会議等で検討して教育の質の向上を図る体制とする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・『令和元年度事業年度に係る実績報告書』令和2年度 公表予定
- ・『大学機関別認証評価 自己評価書』平成29年度受審 公表済
- ・EAEVE（欧洲獣医学教育機関協会）自己評価書 公表済

b 公表方法

- ・大学WEBサイト上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年度に機関別認証評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。